

つくばスーパーサイエンスシティ構想

令和6年（2024年）5月29日

つくば市長 五十嵐 立青



データ連携基盤整備事業

先端的区域データ活用事業活動の実施を促進するため、互換性の確保や必要なセキュリティ対策を講じた上で移動・物流等の分野におけるオープンデータ等を連携するためのデータ連携基盤を運用する。

都市のあらゆるデータを収集整理し、デジタル田園都市国家構想をけん引する革新的なサービスを実装する。



データ連携基盤 (FIWARE準拠)



互換性・安全性 (セキュリティ) の確保

互換性・安全性 (セキュリティ) が確保されるようデータの安全管理等の必要な対応を実施。

互換性

- データ仲介するブローカーの採用
- オープンAPIの採用及び管理機能の実装
- カタログサイトの公開

等

安全性
(セキュリティ)

- Oauthによる認証機能の実装
- サイバーセキュリティ対策
- 情報セキュリティポリシーの整備

等

データ連携基盤の段階的な拡充

運営主体の一般社団法人化により、ガバナンスを強化するとともに、データ連携基盤の利活用の早期の具体化や新たなサービス創出を促進。

データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大

運用体制等を整備しつつ、個別のデータ連携の検討・実証等

データ連携基盤を活用した先端的サービス開始等

先端的サービス事業者の自律的な活動を支援・拡大

- 運用体制の見直し
- 分科会を活性化し、データ連携基盤の利活用を本格化
- プライバシー影響評価の仕組みの構築
- 先端的サービスの拡充・サービス間の連携強化
- 先端的サービスの本格的な事業化
- PHRデータ連携の検討

一般社団法人つくばスマートシティ協議会への移行について

- つくばスーパーサイエンスシティ構想の推進を本格化していくことに伴い、先端的サービスの実装に係る権利義務や責任範囲等を明確にする必要性が高まってきたことを受け、令和6年(2024年)4月1日一般社団法人を設立し、ガバナンスを強化。
- これを契機に、協議会内に設置しているデータ連携基盤分科会をハブとして、各分科会の活動を一層活性化させ、データ連携基盤の利活用の早期の具体化や新たなサービス創出を強力に推進する。

一般社団法人つくばスマートシティ協議会

